

令和元年 8 月 29 日 三重県少子化対策推進県民会議
福田委員 提出資料

次期子どもスマイルプランに向けて

当財団の活動を通じた「現場の声」として、次の通り申し述べます。

私たちは、みえこどもの城指定管理(児童健全育成事業)及び青少年育成事業を通じて、最重要キーワードである「地域との連携」に取り組んできています。

具体的には、地域の企業・団体の皆さんと連携・協働した「地域協働型大型イベント（キッズおしごと広場・オレンジまつり・むかしあそびっておもしろい）」を7年前から毎年行っています。この大型イベントのネットワークやノウハウを基に「おやつ之城 H29・R1」「サイエンスフェスタ H29・R1」「お茶フェスタ H29・H30」など、特定分野の企画提案を実現するイベントに発展してきています。

これらの実行段階では、企業や地域のボランティアなどの皆さんのみならず、大学生・高校生ボランティアの協力も得て行われます。

さらに、一般イベントには、ボランティアグループや地域の団体からの企画提案なども増えてきています。県施策との連携・受託事業を含め、多種・多様な企画イベントにつながっています。また、別の発展形として、これらの連携団体と地域で事業を実施する「サテライトこどもの城」を実施しています。

そこで、当財団では、微力ながらも、地域連携の拠点としてのノウハウの蓄積・提供等の機能充実を図っていきたくと考えています。

そのためには、財団としては、安定した経営基盤として、多様な事業展開の仕組みの構築とともに、長期的な人材育成が課題となります。特に、子どもの育ちや子育て支援の技術の理解だけでなく、協働関係づくりができる説明力、コミュニケーション能力の向上が一層求められており、中長期的な観点からの対応が求められていると考えられます。

今後も、みえこどもの城を拠点とすることはもちろん、出張イベントの実施や他地域でのイベント参加など「サテライトこどもの城」を県内に展開することを含め、地域の皆さんとともに、子どもを見守っていきたくと思います。

イベント区分	指標	※R1	H30	H29	H28
地域協働大型イベント	協働企業・団体数	61	73	101	66
	ボランティア学生数	139	205	215	128
ボランティア・学生等企画事業	企画数	10	40	47	23
県施策関連イベント等	企画数	7	25	30	21

※ R1については、第1四半期（大型イベントは7月末）までの集計

【次期子どもスマイルプランに向けての提案】

テーマとしては、「次世代育成支援対策を引き続き充実させる。」です。

子どもは権利の主体で、子ども自身の主体的な取組・活動を助長・支援することは重要な視点です。

一方で、社会のあらゆる場面で様々なセクターが子ども・子どもを持つ(持とうとしている)家庭を支える環境を整えていくことも大切な点です。

地域社会における子どもや家族との関係、企業と家庭の関係などの変化をとらえ、あらためて、地域社会の力を結集することの重要性を再確認することが必要と考えます。

なぜなら、三重県では、先駆的にこの分野に注目し、【みえ次世代育成応援ネットワーク】を組織化し、三重の子どもが生き生きと育ち、子育てに喜びを感じられるような社会をめざして、地域の企業、子育て支援団体が参画活動しています。

このような活動は、企業の社会貢献活動、従業員を含めた地域社会とのつながりや絆の構築、働き方改革の実践等として数多く実施されてきました。様々なきっかけで始まった活動であっても、その積み重ねによって、子どもを取り巻く困難な状況や企業・団体等の連携の重要性についての理解が進んできています。

子どもの育ち、子育て家庭への支援を含め、引き続きその意義と重要性を新しいプランに盛り込み、企業や活動団体における次世代育成支援を通じた地域社会への関わりを評価していくことは、大いに意義があると考えます。つまり、子どもが豊かに育つ地域社会を三重県に実現していくことにつながると考えるからです。

また、地域の様々な皆さんとの連携・協働には、多様な提案、地域や企業の「売り」をコーディネートして、新たな形にしていく「協創」が一層重要になることから、これを推進する機能・役割について、しっかりとした議論が必要と考えられます。